

はばたき

2013 秋号 第31号[通巻第142号]
平成25年10月発行[季刊]

編集・発行／佐世保中央病院 佐世保市大和町15番地(広報委員会)
TEL 0956-33-7151 FAX 0956-33-8557 E-mail sch@hakujujikai.or.jp
社会医療法人財団 白十字会ホームページ <http://www.hakujujikai.or.jp>

はばたき第31号 ● もくじ

- ① 下肢静脈瘤市民セミナー & 健康相談会の報告
- ② 日本医療機能評価(ver.6.0) 更新審査の認定
- ③ 最新!! 医療機器“HAL”
- ④ 第5回病院子ども探検隊
- ⑤ 職種紹介“薬剤部について”
- ⑥ 新任Dr.の紹介
医療費について～シリーズ1～
- ⑦ 患者様の声～ご意見箱より～
- ⑧ 健康レシピ紹介
- ⑨ 外来診療担当表



基本理念

患者様が一日も早く社会に復帰されることを願います。

基本方針

- 1. 患者様の権利を尊重し、患者様中心の快適な療養環境を提供いたします。
- 1. 地域医療機関との連携に努め、市民のニーズに合った診療活動を展開することにより、社会に貢献できる病院を作ります。
- 1. 職員の総和をもって納得の医療を推進し、患者様から安心され信頼され、愛される病院を作ります。
- 1. 最新の医学情報と医療設備を導入し、日進月歩の医学に正面から取り組みます。
- 1. 病院人として社会人として、信頼される人格をもった責任ある人間を育成いたします。
- 1. すべての職員にとって、かけがえのない価値ある職場であるよう努力いたします。

患者様の権利と義務

- 1. いかなる差別もなく公平な医療を受けることができる。(受療権)
- 2. 自身の症状・診断・予後・治療などについて、納得できる説明を受けることができる。(知る権利)
- 3. 医療者の提案する診療計画など自らの意思で決定することができる。(自己決定権)
- 4. 個人情報やプライバシーを保護される権利がある。(プライバシー保護権)
- 5. 他施設の医師に相談することができる(セカンドオピニオン権)
- 6. 医療者に対し、自身の健康・病状に関する情報を正確に伝える義務がある。(情報提供義務)
- 7. 病院業務に支障をきたさないよう協力する義務がある。(診療協力義務)

第5回子ども探検隊

(関連記事は4ページ)



下肢静脈瘤市民セミナー & 健康相談会を行いました。

心臓血管外科 中路 俊



8月10日(土)アルカスSASEBOにおきまして、下肢静脈瘤について市民セミナー&健康相談会を開催いたしました。

セミナーでは、先ずながさきハートクリニックの多田誠一先生に「下肢静脈瘤の原因と最新治療」についてユーモアを交えながらわかりやすくご講演いただきました。次に当院で

今年から開始した「健康保険が適用する下肢静脈瘤に対するレーザー治療」について紹介を行いました。また会場前のホールでは、足の症状について相談を希望する皆さんに対して外来看護師さんによる健康相談会が行われました。

セミナー前からたくさんのお問い合わせがあり、当日も300人を超える皆さんに参加して頂き、大盛況のうちに終了することが出来ました。

最近、下肢静脈瘤専門外来を受診希望する患者さんが増え、セミナーの手ごたえを感じているところです。セミナーへ参加していただいた皆さんへのアンケート結果をもとに、今後も皆さんの健康に役立つ情報を発信していきたいと考えています。



病院機能評価(ver.6.0)の更新認定について。

病院機能評価更新準備委員会

この度、日本医療機能評価機構による病院機能評価(ver.6.0)の更新審査を受審し、認定を受けました。

平成24年2月21日の1回目の準備委員会を皮切りに、1年余りにわたり組織的な改善活動を行なってきました。病院機能評価というと、医療従事者でも「訪問審査」を思い浮かべるのですが、実際は「書類審査」も含まれており、書面審査調査票の作成にも病院一丸となって取り組みました。

迎えた訪問審査当日は、病院をあげてサーベイヤーの対応を行い、当院の取り組みはもちろんのこと、機能評価に対する真剣な姿勢をお伝えできたものと思います。講評では、一部「改善が期待される」というコメントもありましたが、概ね「適切である」というお言葉をいただきました。中には「高く評価できる」という項目もありました。

今回、日本医療機能評価機構より「認定」をいただきましたが、これはゴールではありません。今回の審査を改善の良い機会と捉え、さらに安全・安心で質の高い医療の提供に邁進して参ります。



最新!! 医療機器

福祉用下肢運動補助装置

ロボットスーツHAL

リハビリテーション部 理学療法士 郷原 早織

今年の4月より当院リハビリテーション部にロボットスーツHALが導入されました。長崎県では3施設目となります。

ロボットスーツHALとは、リハビリテーション機器のひとつとして開発された福祉用下肢運動補助装置です。

正式名称はHybrid Assistive Limbで、頭文字をとってHALといいます。HALは体に装着することによって、下肢機能を補助することができる世界初のサイボーグ型ロボットです。

人が筋肉を動かそうとしたとき、微弱な生体電位信号が皮膚表面に漏れ出てきます。HALは、その信号を基に力を制御して、患者さんの筋肉の動きと一体的に関節を動かすことで、起立や歩行といった動作支援が可能となります。

最先端機器ですので、HALに関する効果を報告する文献はまだ多くはなく、まだまだ研究発展段階ですので、急性期での効果を今後検証していくことが我々の使命だと思っています。

当院では脳神経外科医の指示のもと、リハビリテーションスタッフが中心に



看護部と連携してHAL訓練を実施しており、脳血管疾患の急性期の患者さんを中心に介入を開始しています。回復期リハビリテーションを担う耀光リハビリテーション病院と連携して、継続したリハビリテーションを提供することが大きな目的となっています。

実際に使用してみて、患者さんの感想には様々なものがありますが、足を動かせる範囲が大きくなったり、直後の歩行で足がよく前に出たりするなどの効果を認めています。

今後もHALの使用方法を研究し、HALを通じて多くの患者さんへより質の高いリハビリテーションが提供できるよう努力していきたいと考えています。

※なお、HALの対象となる患者さんは当院入院期間中で、医師・看護師・理学療法士が話し合い、慎重に決定しています。





第5回

病院子ども探検隊



8/8(木)に第5回病院子ども探検隊を開催いたしました。当日は佐世保市近郊から小学4～6年生の児童28名が参加しました。

今回手術室やリハビリテーションなど6つの部署を見学し、各部署で様々な体験をしました。

探検の内容は以下の通りです。

まず、手洗いに関する講演を聞き、手洗いがどれだけ上手にできているかグリッターバッグという専用の機械でチェックしました。特殊な薬品を塗って機械に手を入れると、洗い残しがある場合はそこが白く光ります。子どもたちは何度もグリッターバッグと洗面台を往復していました。

続いて、手術室で電気メスを使用して鶏肉を切ったり、内視鏡手術のトレーニングキットを体験したりしました。またリハビリテーション部では、片麻痺の体験や食事補助具を使って、利き腕ではない腕で食事をする体験をしました。健康増進センターでは、超音波検査の仕組みを学び、実際に心臓のエコーを見ました。イベントの最後には、今回の企画のために特別に作成した部署紹介動画を閲覧しました。

将来、この病院子ども探検隊に参加した子どもたちと一緒に働く日が来ることを願っています。



病院子ども探検隊の参加者は公募しております。対象は小学4～6年生の児童です。7月ごろに募集し、8月に開催を予定していますので、病院ホームページおよびfacebookページをご確認ください。

CSR社会貢献部会 濱田太一

●薬剤師とは…

処方せんの内容について、飲み合わせ・重複・用法・用量・日数等をチェックし、調剤する「調剤」、薬の効能・効果や用法、使用上の注意点を患者さんにわかりやすく説明する「服薬指導」を中心として医療に従事しています。また、抗がん剤を点滴に混ぜる「無菌調製」や採血した血液中の薬の濃度を測定し、患者さんに最も適した投与方法を解析する「TDM」、薬の情報管理や収集を行う「医薬品情報管理」なども行っています。

●当院の薬剤部について…

当院では、現在男性2名、女性9名、計11名の薬剤師と3名の調剤助手、計14名が在籍しております。近年、薬剤師の専門化とチーム医療への参加が急速に浸透しており、当院の薬剤部においても、感染制御、がん化学療法、リウマチ膠原病、糖尿病、緩和ケア、栄養サポートなどの領域でチーム医療の一員として薬剤師の専門性を発揮しています。

●薬剤部での取り組み…

臨床現場で専門性を発揮できる様に、2病棟3人体制で薬剤師を病棟に配置しており、患者さんの薬の管理や指導、副作用の早期発見や発現防止、薬に関する相談などを行っています。今後も、医師や看護師などの医療スタッフとの連携を深め、より良い医療に貢献することを目指しています。





新任Dr.の紹介

①診療科 ②出身大学 ③卒業年 ④出身医局 ⑤認定医、専門医などの種類(学会名)

⑥医師を志したきっかけを教えてください。また、この科を選んだのはなぜですか？ ⑦趣味、または特技を教えてください。⑧自己PRをお願いします。⑨最後に患者様へ何か一言お願い致します。

みうら しろ
三浦 史郎 Dr.

- ① 病理診断科(非常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成14年卒
- ④ 長崎大学原研病理
- ⑤ 死体解剖資格認定

⑥人のためになる仕事をしたかった。何となく学生時代からお世話になっていた教室へそのまま入局しました。⑦ゴルフ ⑧病理診断のお手伝いに参りました。よろしく申し上げます。
⑨患者さんのために、迅速で正確な診断を目指します。

こんどう ひであき
近藤 英明 Dr.

- ① 内科(非常勤)
- ② 長崎大学
- ③ 平成2年卒
- ④ 長崎大学第一内科
- ⑤ 日本睡眠学会認定医

⑥すべて時の成り行きです。⑦無 ⑧長崎市および上五島でも診察しています。⑨「眠りにつくことができない」、「寝ても何度も目が覚めてしまう」、「ぐっすり寝た気がしない」、「日中眠たくてしかたない」、「朝起きることができない」、「寝ている間に暴れる」、「布団に入る頃になると足が落ち着かない」、「いびきがひどい」など眠りに関わる問題でお困りの方の診察を行います。

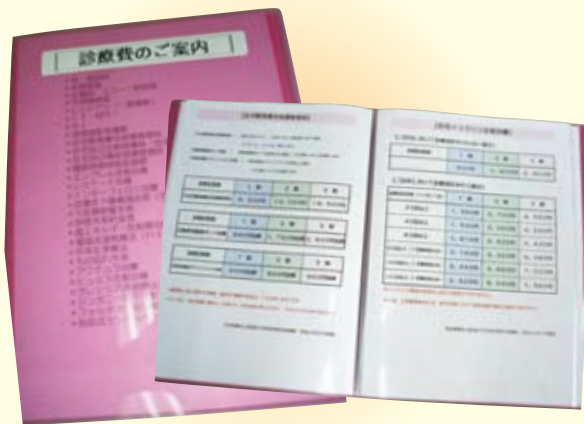
医療費について ~シリーズ1~



『診療費のご案内』を設置しておりますので、ご利用下さい。

医療事務課・メニュー表作成委員会では、常に最新版の内容で患者さんやご家族に手取りやすく、見やすい「診療費のご案内」作りを目指しております。皆様にもぜひ手に取ってご覧いただきたいと思っております。

設置場所:各診療科窓口のマガジンラック・院内40箇所



治療費についてわからないことや、不安なことがございましたら、①番窓口:医療費相談コーナーをお気軽にご利用ください。

医療事務課・メニュー表作成委員会

患者様の声～ご意見箱より～

貴重なご意見
ありがとうございます



「病棟での給食時間を再考してほしい」とのご意見について

「病棟での食事時間が、朝8:00、昼12:00、夕18:00ですが、朝と昼の間隔が4時間、昼と夕の間隔が6時間とバランスが悪く、服薬も食後ならその間隔になるがそれでよいのか？

通常社会生活において朝はせめて7:30が妥当ではないか。昼を12:30としていただき、食事間隔を朝昼5時間、昼夕5.5時間として均等化できないか？」とのご意見をいただきました。

わかりやすいご指摘を頂き、率直にお礼申し上げます。

ご指摘の病棟での食事時間につきまして、病院内の栄養給食委員会で検討に入らせていただきます。

しかしながら、給食配膳につきましては、人的な要因、および各診療科での検査時間帯等との関連があるため、慎重に検討し、対応させていただきたいと考えております。

皆様のご理解・ご協力の程をお願い申し上げます。

栄養管理部 貴島 左知子

「病棟での看護師対応や実習生指導のあり方について再考してほしい」とのご意見について

「入院中、担当看護師からカーテンをいきなり開けられることがあった。声掛けをしてから開けて欲しい。」「処置の際に、実習生が見学していたが(そのこと自体は構わないが)担当看護師から事前の確認も終了後の声掛けもなかった。その看護師の態度はとても不快であった。」とのご意見をいただき、率直にお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

該当病棟において、早速情報共有し、このようなことが今後無いよう、看護師がカーテンを開ける際の声掛けの徹底や、実習生が見学する際には患者さんに事前に承諾を頂くことの徹底を行ってまいります。あわせて実習生の見学については担当看護師を定め、見学の際は必要最小限の人数でおこなう、などの取り決めを行いました。また当然のことながら看護師の態度についても再度、指導を行いました。今後とも、より良い看護を提供できるよう改善を図ってまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほどをよろしくお願い申し上げます。

看護部長 横山 藤美

「ICUでの患者さんの私物確認のあり方」に関するご意見について

「ICUへ緊急入院した際、所持品について『ここに入れておきますね。』との声掛けがあったため安心していった。しかし、翌日ICUから他の病棟に移る際、『荷物の確認をします』との声掛けはあったものの、その後中身を調べるという説明はなかったと思われるが、担当看護師が黙って所持品の中身や財布の中身まで確認していた。何を確認したのか不明であり、また個人情報を勝手に見られた不快感も大きかった。」とのご意見をいただき、お詫び申し上げます。

ICUには、金庫など個人の資産をお預かりする設備が無く、ご家族等がいない場合は、危険物の有無やお金の紛失等の確認のためスタッフにて中身を確認させていただいております。しかしながら今回、その説明ならびに患者さんから了承を得ることが徹底されておりました。今後はこのようなことが無いよう、患者さんへの声掛け、ご説明、承諾を頂くこと、を徹底し、改善を図って参ります。今後とも皆様のご指導ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

看護部長 横山 藤美

健康レシピ紹介

椎茸とエビ団子のごちそう蒸し

秋の味覚、キノコ！

キノコにはビタミンDと食物繊維が豊富に含まれており、ほとんどカロリーはありません。

ビタミンDは、キノコ類をはじめ、魚介類や卵類にも多く含まれており、カルシウムの吸収を高める働きがあります。脂溶性ビタミンの一種でもあるため、脂質と一緒に摂ることで効率よく体内に吸収されます。また、吸収されたビタミンDは日光を浴びて体内で活性化されます。バランスよく食べ、日光を浴び、適度な運動を行って健康的に過ごしましょう！



【材料】2人分

- エビ……………80g
- 豚挽き肉……50g
- 椎茸……………6個
- おろししょうが……………小さじ1/2
- 青ネギ……………2本
- 赤ピーマン…1/2個
- ごま油…大さじ(1～2)
* 香りづけ程度

★調味料

- 酒…大さじ1
- 砂糖…小さじ1/2
- 鶏スープの素…少々
- ごま油…少々
- かたくり粉…小さじ1
- こしょう…少々

※たれ

- 醤油…大さじ2
- 砂糖…少々
- こしょう…少々
- 鶏スープの素 少々

作り方

- ①エビを細かく切って少々たたく。
- ②①に豚挽き肉、おろししょうが、★調味料を入れてよく混ぜる。
- ③②を6等分に分け、軸を取った椎茸の上に乗せてお皿に並べる。
- ④蒸し器に入れて強火で約20分蒸した後、青ネギと赤ピーマンを散らす。
- ⑤小鍋でごま油を煙が立つくらいに熱して、④にかける。
- ⑥同じ鍋に、※たれ用の調味料を入れて沸騰させて④にかける。
- ⑦香菜を⑥の上に散らす。

<ポイント>

しいたけの傘の部分に、薄くかたくり粉等をまぶしておく、離れにくくなります。

栄養管理部
松本 真奈美

外来診療担当表

全診療科予約制

平成25年 10月1日現在		月		火		水		木		金		
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科	呼吸器	小林		田中				小林				
	内分泌							安部(非)(再)	大財(非)	藤山(非)		
	骨代謝										藤山(非)	
	腎・透析		浪江						浪江(再)	林(非・再)	林(非・再)	
	神経内科	竹尾(再)		竹尾(再) 岩本 (長崎大学担当医)	岩本	植木		吉村(非)		竹尾(再)		
	リウマチ 膠原病 センター	新患	一瀬(非)		荒牧	岩本	梅田	寺田	梅田		荒牧	
		再来	植木		荒牧	岩本	梅田	寺田	梅田		寺田	
糖尿病 センター	新患	森(良)				森(美)		藤島(非)		松本		
	再来	松本		松本・藤島(非)	森(美)	森(良)	松本	松本・森(良)		森(美)		
循環器科	新患	木崎		矢野(非)		中尾(功)		木崎		矢野(非)		
	再来	赤司		中尾(功)・本田・矢野(非)		木崎・赤司		中尾(功)		木崎・矢野(非)		
消化器科	(消化管)	山道		松崎	富永(再)・竹島(非・隔週)	小田	磯本(非・隔週)	小田		澤瀬		
	(肝胆膵)	草場		木下		松崎		山道		木下・澤瀬		
人工透析センター		浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	浪江	浪江	浪江・林	浪江・林	
外科	新患	梶原・重政	※	草場	※	碓	※	橋本	※	佐々木・小山	※	
	再来	碓				菅村(非)	羽田野	重政		碓		
	特別顧問外来	國崎				梶原						
脳神経外科		阪元	※	※	※	阪元	※	※	※	阪元	※	
		竹本				衛藤(非)				竹本		
心臓血管外科		※	※	柴田	※	※	※	柴田	※	※	※	
				谷口				中路				
皮膚科		山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	山口	※	
小児科		山田	循環器外来 (第1,第3,第5週)	山田	乳幼児健診・予防接種	山田	アレルギー外来 (山田)	アレルギー外来 (第4週休診)	山田	乳幼児健診 生活習慣病外来 (隔週)		
		犬塚	心身症外来 (第2,第4週)	犬塚	神経外来 (第1週休診)	犬塚	心身症外来	犬塚	神経外来	犬塚		
泌尿器科	新患	徳永	※	南	※	徳永		南	※	徳永	※	
	再診	南		徳永		南	南(前立腺)	徳永		南		
眼科				上松(非)								
耳鼻咽喉科		大里	※	大里	※	大里	大里	大里	※	大里	※	
		*						*				
放射線科		平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	平尾	
		堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	堀上・末吉	
放射線治療計画						山崎	山崎					
救急総合 診療部	内科系	澤瀬	本田	森(美)	担当医	山道	羽田野	赤司	荒牧	梅田	田中	
	外科系	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	
メモリークリニック(もの忘れ外来)		井手		井手		井手		井手			井手(再)	
専門外来		インターフェロン(新患・紹介のみ) 木下 14:00~16:00 ペースメーカー 木崎・中尾(再) 第2,第4月曜日 14:00~16:00 乳腺 佐々木 第2,第4月曜日 14:00~17:00		ストーマ 重政 第2火曜日 14:00~16:00 禁煙 菅村 第2,4火曜日 13:30~15:30 ステントグラフト外来 谷口 13:00~14:00 睡眠 近藤 隔週 13:00~16:00		乳腺 碓 14:00~17:00		CAPD 林和(4週1度・再診) 14:00~15:00 下肢静脈瘤 柴田 14:00~15:00		乳腺 佐々木 13:30~16:30		
健康増進センター		寺園		寺園		寺園		中尾		寺園		
		板倉・林・田中 (交互隔週)		野々下・板倉		山本・寺田		寺園・寺田				
乳がん検診		佐々木		碓		佐々木		碓		橋本		
健診婦人科(特別顧問外来)		石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸	石丸		

※医師の出張等により、休診する場合がございます。受診ご希望の方は予約をお願いいたします。

受付時間 8:30~11:30 / 13:30~16:30
(専門外来・紹介のみ)

診察時間 9:00~12:00 / 14:00~17:00
(専門外来・紹介のみ)

土曜日は、休日診療体制とさせていただきます。

☆:救急部24時間体制 * :当番医 (非):非常勤 (再):再診
※:主に手術・検査の予定ですが、予定が無い場合は診察いたしますのでご確認ください。

すべての診療科において時間帯予約制をとっております。受診を希望される場合は、コールセンターへ事前にご連絡いただき予約をお取り下さい。

受付時間 月~金曜日 8:30~17:30

予約専用電話番号 0800-7000-888 (通話料無料)

医療機関からの紹介状をお持ちの方は TEL/FAX 0120-33-8293 地域医療連携センターまでお願い致します。(土曜日の8:30~12:30も受付けております)